

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2011

「映像の力で日本に笑顔を取り戻そう」

俳優・佐藤浩市が世界中から集められた写真を使用したショートフィルム制作に協力

米国アカデミー賞公認、日本発・アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア (略称: SSFF & ASIA)」(代表: 別所哲也)は、この度の東日本大震災に伴い、チケット収益の一部を日本赤十字社、CIVIC FORCEへ寄付すると共に、チャリティ活動企画第一弾として、「チャリティショートフィルムプロジェクト」を実施。“笑顔になる瞬間”をテーマとした写真を一般公募しました。全世界より集まった写真は530枚以上。応募者の本プロジェクトに対する想いが伝わってくる、あたたかい写真が沢山集まりました。

本プロジェクトには、日本を代表する俳優・佐藤浩市さんにご協力いただき、また楽曲提供として、EMI MARIAさんが参加。2011年5月11日発売の「Proud」をご提供頂きました。本作品は、6月16日(木)から開催となる本映画祭でも上映し、映画祭終了後は、ショートフィルム専門ブティックシアター「ブリリア ショートショート シアター」(横浜・みなとみらい)での上映や、YouTubeでの配信など、より多くの方にご覧頂ける機会を創出していきます。

またお二人には、「映像の力で日本に笑顔をと」というコンセプトにご賛同いただき、本映画祭主催のチャリティオークションにも貴重な品々を出品いただきました。(6月18日～24日 Yahoo!オークションにて出品)



佐藤浩市

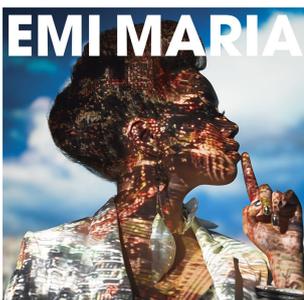
1960年東京生まれ。映画デビュー作「青春の門」でブルーリボン賞新人賞を受賞。以後、数々の映画、ドラマに出演し、シリアスからコメディまで幅広い役をこなす。7月に「大鹿村騒動記」、9月には「アンフェア2」の公開が控えている。

佐藤浩市さんコメント

ショートショートフィルムフェスティバル & アジアは、何かを発信し続けていくという点で、凄く意味のある映画祭だと思います。是非映画祭に来ていただき、世界中の皆さんとショートフィルムを楽しんでください。



木村拓也さんと共演した人気ドラマ「プライド」にて、佐藤さんが着用していた衣装をチャリティオークションに!



EMI MARIA

その圧倒的なボーカルと、リリックからトラックメイクまでも手がけるワン・アンド・オンリーの女性アーティストとして、今後の活躍が最も期待される。

EMI MARIAさんコメント

この曲は、私の父親の祖国パプアニューギニアに18年ぶりに訪れた時に感じた事を歌った曲です。「今すぐに何かしたい」「今、わたしに何が出来るだろう」という気持ちを込めています。そして、「私たち」にしか出来ない事がきつとあるんじゃないかって信じています。この度、この曲を「笑顔になる瞬間」というショートフィルムに使っていただいていると聞いて、とても光栄に思っています。そして、このフィルムが震災を受けて傷ついている沢山の方々を少しでも勇気づけられたらって心から願っています。長い道のりになるかもしれないけど、これを乗り越えた時、さらに明るい未来がくると信じています。



EMI MARIAの生まれ故郷、パプアニューギニアで購入したチャリティシャツ(EMI MARIAサイン入り)



「GET UP」(大森清一郎 / 4:17 / 2011)

楽曲: EMI MARIA「Proud」

我々の生活のすぐ裏側には様々な“闇”が存在しています。しかしこの闇には普段、蓋がしてあって自分から覗きに行かない限りその様子を伺うことはできません。残念ながら理想と現実の間にはまだまだ大きな隔たりがありそうです。被災者の方々には「とにかく立ち上がって欲しい」と願っています。



大森清一郎 監督

1976年生まれ。CGプロダクション勤務や専門学校講師などを経てフリーのCGクリエイターに。ロゴ、キャラクター、2D・3Dにかかわらず動画、平面、WEBなど仕事は様々。「女房、子供のためなら何でもやります。」

SSFF & ASIA 2010 ジャパン部門入選

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2011 開催概要

会場:表参道ヒルズ スペース オー (東京都渋谷区神宮前4-12-10表参道ヒルズ本館地下3F)
日程:2011年6月16日(木)~19日(日)

会場:ラフォーレミュージアム原宿 (東京都渋谷区神宮前1-11-6 ラフォーレ原宿6F)
日程:2011年6月22日(水)~26日(日)

会場:TOHOシネマズ 六本木ヒルズ(オールナイト上映) (東京都港区六本木6-10-2 けやき坂コンプレックス)
日程:2011年6月17日(金)・18日(土)

会場:シネマート新宿(3D部門上映) (東京都新宿区新宿3-13-3 新宿文化ビル6・7F)
日程:2011年6月17日(金)~24日(金)

会場:プリリア ショートショート シアター(横浜開催) (横浜市西区みなとみらい5-3-1フィルミー2F)
日程:2011年6月18日(土)~26日(日)

※映画祭オフィシャルHP: www.shortshorts.org/2011/

※オープニングイベントは6月16日(木)、アワードセレモニーは6月26日(日)に行われます。
完全招待制のため、チケットは販売致しません。

<参考> ショートショート フィルムフェスティバル & アジア



米国アカデミー賞公認、日本発アジア最大級の国際短編映画祭。1999年、東京原宿で映像王国ハリウッドに集まったショートフィルムを紹介する映画祭としてスタートして以来、名監督の初期短編映画や、若手映像作家が産み出した作品など、毎年4000本以上にも及ぶ作品が、世界50以上の国や地域からよせられ、のべ14万人を動員するイベントです。これまでに、ロサンゼルス、シンガポール、ミャンマー、などでも開催され、2010年にはマレーシアでも開催。「日本生まれ」の映画祭が海外に展開される「ユニークな映画祭」として注目を集めています。また審査員には、大沢たかお、押井守、奥田瑛二、崔洋一、デーブ・スペクター、武田双雲、竹中直人、土屋アンナ、寺島しのぶ、野口健、堀北真希、村上龍、桃井かおり、山田優など多彩な顔ぶれをお迎えし、様々な視点から審査して頂いています。

2004年には、米国アカデミー賞の公認映画祭として認定を受け、本映画祭でグランプリを獲得した作品は、次年度米国アカデミー賞のノミネート対象となります。また同年10月、石原慎太郎都知事の提案の下、「東京都を拠点とするアジア映像文化のショーケースを設ける映画祭」として「ショートショート フィルムフェスティバル アジア」を「ショートショート フィルムフェスティバル(SSFF)」の兄弟映画祭として開催。日本で初めての、アジア諸国のショートフィルムを紹介する映画祭としてスタートしました。現在は、「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」として、毎年同時開催を行っています。また、映画祭開催初年度から毎年ジョージ・ルーカス監督に応援いただくなど、世界中の映画人から愛される映画祭として成長を遂げてきました。本映画祭参加監督には、今や米国アカデミー賞ノミネート監督として名高いジェイソン・ライトマン監督や、「カンフーパンダ」などのヒット作を生み出すマーク・オズボーン監督、シンガポールの新鋭、「881 歌え! パパイヤ」のロイストン・タン監督などがおり、今や第一線で活躍する監督も続々と輩出しています。

<本件に関するお問い合わせ先>

<一般からのお問い合わせ>

ショートショート フィルムフェスティバル & アジア事務局
TEL:03-5474-8844/FAX:03-5474-8202

<メディアからのお問い合わせ>

株式会社ブラップジャパン
担当: 持富、伊藤、山口
TEL:03-3486-6868/FAX:03-3486-7502
Email:k-mochitomi@prap.co.jp